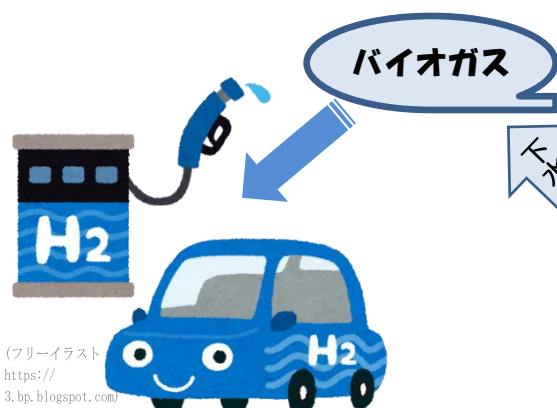


# 福岡県環境教育学会 第21回年会

## テーマ「未来を開く環境教育」

環境の向上と産業発展を両立させようという試みが、民間企業、地方公共団体、大学等の連携で行われています。今回の年会では、先進的な取り組み例を紹介するとともに、この国における環境教育を考えて行きたいと思っています。奮ってのご参加をお待ちします。

年会の詳細は学会ホームページをご覧ください。



(フリーイラスト  
[https://  
3.bp.blogspot.com/](https://3.bp.blogspot.com/))



(「水はめぐる」図案：長山芳子)

日時：2018年8月11日(日)10:00～16:00(受付開始9:30)

会場：福岡工業大学 FIT ホール(福岡市東区和白東3丁目30番1号)

会場までの交通…JR利用 鹿児島本線「福工大前駅」下車、会場まで徒歩約5分  
バス利用 西鉄バス「福工大前」下車、会場まで徒歩約10分

学内マップ <http://www.fit.ac.jp/shisetsu/campus/map/index> 交通アクセス <http://www.fit.ac.jp/shisetsu/campus/index>

### 内容：

9:30～	受付開始
10:00	開会式
10:10	講演「下水を未来のエネルギー資源へ ～福岡市水素リーダー都市プロジェクトについて～」 福岡市道路下水道局下水道施設部中部水処理センター 所長 吉村 雅之 氏
11:00	実践報告「環境エネルギーと次世代の化学反応式 ～学校教育への導入～」 中村学園大学・中村学園大学短期大学部 石原 忍 氏
11:20	質疑応答
11:40～12:10	ポスター発表(研究発表・実践報告発表と質疑応答)
12:10～13:10	昼休み (昼食は、弁当等を持参ください。周辺の飲食店、コンビニエンスストアは休みです)
12:15～13:00	福岡県環境教育学会 総会
13:10～15:10	口頭発表
15:20～15:40	閉会式 発表賞授与(学会賞は後日発表)

参加費：無料，発表要旨集代：会員・学生 500 円，非会員 1000 円

※台風や大雨等の警報が発令された場合は、開催を中止することがあります。  
中止の場合は開催当日の午前6時過ぎ頃までに HP で発表します。

<主催> 福岡県環境教育学会 <http://www.fuku-kan-kyouiku.org>

<後援> 福岡県，福岡県教育委員会

【年会問い合わせ先】福岡県環境教育学会第21回年会実行委員会

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 石原 忍 tel:090-7390-6058 e-mail:ishihara\_sinobu@hotmail.com

## 第 21 回年会 ～ 未来を開く環境教育 ～

日時：2018 年 8 月 11 日（土）10：00～16：00

会場：福岡工業大学 FIT ホール（福岡市東区和白東 3 丁目 30 番 1 号）

- 9：30 受付 (FIT ホール 2 階 ロビー 1)
- 10：00 開会式 福岡県環境教育学会 会長挨拶 (FIT ホール 3 階ホール)  
第 21 回年会実行委員会 委員長挨拶
- 10：10 講演 「下水を未来のエネルギー資源へ～福岡市水素リーダー都市プロジェクトについて～」  
福岡市道路下水道局下水道施設部中部水処理センター 所長 吉村 雅之 氏
- 11：00 実践報告「環境エネルギーと次世代の化学反応式 ～学校教育への導入～」  
中村学園大学・中村学園大学短期大学部ラーニングサポートセンター 石原 忍 氏
- 11：20 質疑応答
- 11：40～12：10 ポスター発表・実践報告発表 (FIT ホール 2 階 ロビー 1)  
(発表の方はこの時間帯で説明や質疑応答をお願いします)
- 12：10～13：10 昼休み休憩 (昼食は、弁当等を持参ください。周辺の飲食店は休みに入ります)  
FIT ホール 2 階 A～C 会場、休憩室を、昼食場所として使用できます。  
燃えるゴミ、PET ボトルや空き缶は、年会実行委員会指定の袋に入れて下さい。
- 12：15～13：00 福岡県環境教育学会 総会 (FIT ホール 3 階ホール)
- 13：10～15：10 口頭発表 (FIT ホール 2 階)  
A 会場：セミナー室 1， B 会場セミナー室 2・3， C 会場：セミナー室 4・5
- 15：20～15：40 閉会式 発表賞授与 (学会賞は後日発表) (FIT ホール 3 階ホール)  
次年度年会 担当地区挨拶  
福岡県環境教育学会 会長講評

### ○写真や動画等の撮影について

年会にかかる场景の写真や動画等の撮影は原則禁止です。写真撮影を希望される場合は、事前に司会や座長に申込、発表者の許可を得た場合のみ撮影可能です。ホームページや SNS や冊子等への掲載は、著作権や個人情報保護の立場から、その都度、発表者等の許可を得てください。

### ○会場における地震発生時の行動について

- ①地震が起きたら、あわてて建物の外に出ないで、落下物をさけることができるよう、机の下など安全な場所に身をかくして下さい。
- ②揺れがおさまったら、教室の扉をあけ、落ち着いて FIT ホール 2 階から避難場所（裏口の駐車場）に避難して下さい。
- ③避難場所に着いたら、係員の指示に従って下さい。

### ○ノロウイルス等による嘔吐物への対応について

- ・嘔吐した場合、その場から離れず、他者に速やかに年会受付に連絡するよう依頼する。
- ・嘔吐物を発見した場合は、触らず、速やかに年会受付に連絡する。

## 発表の方法

### 口頭発表

- ・ 報告時間 15 分，質疑応答 3 分でお願いします。  
開始 13 分で 1 鈴，開始 15 分で 2 鈴，開始 18 分で 3 鈴が鳴ります。
- ・ 発表会場に卓上パソコンが設置されています。発表前に動作確認をお願いします。  
発表後は，各自のファイルを設置パソコンから消去してください。

### ポスター発表

- ・ FIT ホール 1 階に設定のパネルをご使用ください。
- ・ ポスターの掲示は 9：30～15：10 とし，各自で掲示し，撤去して持ち帰って下さい。
- ・ 11 時 40 分～12 時 10 分は必ず各自のポスターの前で待機し，説明等を行って下さい。

## === ポスター発表 ===

- P1 海岸ごみ清掃支援ロボットと市民との協働の事例（中間報告：フィールド試験結果の紹介）  
○吉柳 隆行（宗像の環境を考える会），吉富 容（宗像の環境を考える会）  
清野 聡子（九大），浦 環（九工大），林 英治（九工大）
- P2 「タカクラ式」生ごみコンポストの活用による，生ごみの減量と食のリサイクルの普及を目指して  
○中島千雅，上原眞寿枝，千々和一美，塚本豊（北九州市コンポストアドバイザーの会）
- P3 電子レンジで「光の干渉」  
○岩上怜仁，○上野大輝，上野崇寿，二宮純子（大分工業高等専門学校）
- P4 高専から発信する「科学」のおもしろさ  
○田仲和志，上野崇寿，二宮純子（大分工業高等専門学校）

## === 口頭発表（A～C会場） ===

### A 会場（FITホール2階 セミナー室1）

- A1 イソパルミチン酸 K 及びイソステアリン酸の室内汚染カビに対する抗真菌効果  
○西村穂乃果（北九州市立大学大学院），好田年成（日産化学(株)），森田 洋（北九州市立大学）
- A2 分岐型脂肪酸類の *Moraxella osloensis* に対する抗菌効果  
○林 琴美（北九州市立大学大学院），好田年成（日産化学(株)），森田 洋（北九州市立大学）
- A3 北九州産の山ブドウから分離した酵母  
○岡本実紗子（北九州市立大学大学院），森田 洋（北九州市立大学）
- A4 芋焼酎醸造における麴生産の高効率化  
○一ノ瀬貴弘（北九州市立大学大学院），畠山 敦（オエノンホールディングス株式会社），高瀬智禎（オエノンホールディングス株式会社），森田 洋（北九州市立大学）
- A5 *A. oryzae* と *R. oligosporus* による酵素生産  
○守口裕二（北九州市立大学大学院），森田 洋（北九州市立大学）

## B 会場(FITホール2階 セミナー室2・3)

### B1 室内塵性ダニの新しい制御法を求めて

○南山美音(北九州市立大学大学院), 好田年成(日産化学株式会社), 森田 洋(北九州市立大学)

### B2 分岐型高級脂肪酸の殺ダニ効果および忌避効果

○丸岡明希(北九州市立大学大学院), 好田年成(日産化学(株)), 森田 洋(北九州市立大学)

### B3 ビスマスの美しい結晶づくりを目指す

○金海匠馬, ○川崎孝太, ○瀬口雄太, 月足天衣, 中畷ひらり, 藤岡百々花, 坂本 響, 尾畑亜可茶, 田中聖子, 谷口翔太, 平野貴士(近畿大学附属福岡高等学校科学研究会), 岡 伸人, 菅野憲一(近畿大学産業理工学部)

### B4 穂波川の生態に関する研究

○城丸龍汰, ○瀬戸辰騎, ○久原大輝, 上野大一, 川崎孝太, 藤野壮一郎, 金海匠馬, 梅見弘太郎, 瀬口雄太, 高嶋大輔, 上田麻未, 梶嶋伽蓮, 辰井美香, 月足天衣, 尾畑亜可茶, 田中聖子, 谷口翔太, 平野貴士(近畿大学附属福岡高等学校科学研究会), 北川忠生(近畿大学農学部), 菅野憲一(近畿大学産業理工学部)

### B5 放射性セシウムの吸着・回収を目的とする新規高分子ゲルの開発

○増田彩花(近畿大学大学院), 杉本亮弥, 藤田祐樹, 宮本 孟, 西田哲明, 岡 伸人(近畿大学産業理工学部)

### B6 環境学習のアクティブ作法 一苺の走出枝(ストロン)繁殖作業を事例にー

○大庭 茂美(九州女子短期大学名誉教授)

## C 会場(FITホール2階 セミナー室4・5)

### C1 超低温下におけるシルクフィブロンの変性

○山元 誠, 二宮純子(大分工業高等専門学校), 森田 洋(北九州市立大学)

### C2 全校生徒が率先して行うごみ減量への取り組み

○波多野公哉(3年), 高山奨悟(2年), 森 友幸(2年)(福岡工業大学附属城東高等学校科学部)

### C3 未利用資源によるユーグレナの培養とアサリ等の餌としての活用について

○尾崎光平(福岡工業大学附属城東高等学校科学部)

### C4 高大連携による能動的学修のための効果的な教育プログラムの研究

○廣川祐司, 西田心平(北九州市立大学 地域創生学群)

### C5 災害ボランティア活動を行う大学生の「自然に対する気づき」に関する実践的研究

○村江史年(北九州市立大学)

### C6 北九州平尾台カルスト広谷湿原の復活と湿原の新たな調査法 + ラムサール条約

○上田真大, ○堀田泰成, ○伊東勇人(東筑紫学園高等学校理科部)

# 大会テーマ 未来を開く環境教育

環境問題はなかなか好転の気配はないのですが、それに対して、この国における環境教育は明らかに一時の熱気が衰退しつつあります。その原因が何によるものかは、多方面からの考察が必要でしょうが、環境教育推進・旗振り役の環境教育学会としては、この現状に対しての対応を考えていく必要があると思っています。

今回の「未来を開く環境教育」は、その対応案の一つで、従来、経済発展と環境正常化は相反するものと捉えられがちでした。当学会で韓国の環境教育についての発表があった際も、経済成長を重視する政党が政権を握ると環境教育は余り重視されなくなるとの指摘もありました。

しかしながら、最近では下水処理場で発生した下水バイオガスに含まれるメタンと水蒸気の反応により二酸化炭素と水素を得て、その水素を石油に代わる代替エネルギーとして、また二酸化炭素は農業用に使用されるといった。環境の向上と産業発展を両立させようという試みが、民間企業、地方公共団体、大学等の連携で行われています。

下水処理場では、常に下水バイオガスは発生しており、安定なエネルギー供給源となりえます。エネルギーの枯渇も心配されており、この取り組みは未来に明るい希望を与えるものです。

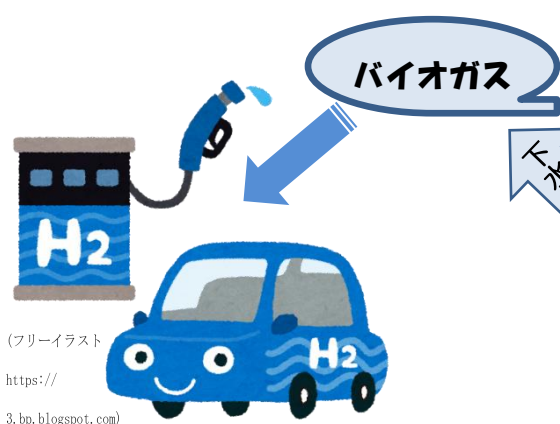
福岡市でも、B-DASH プロジェクト (Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project 国土技術政策総合研究所の委託研究として、民間企業、地方公共団体、大学等が連携して行う実規模レベルの実証研究) の名のもと、積極的に水素エネルギーの普及に努めています。

今回の年会では、このような先進的な取り組みを紹介するとともに、学生たちの意見も積極的に聞きながら、これからのこの国における環境教育は、いかにあるべきかを考えて行きたいと思っています。

## 講演 「下水を未来のエネルギー資源へ

### ～福岡市水素リーダー都市プロジェクトについて～

福岡市道路下水道局下水道施設部中部水処理センター 所長 吉村 雅之 氏



## 実践報告 「環境エネルギーと次世代の化学反応式 ～学校教育への導入～」

中村学園大学・中村学園大学短期大学部ラーニングサポートセンター 石原 忍 氏